

平成 18 年度再チャレンジ支援地域モデル事業中間報告書

都道府県 石 川 県

事業計画 (1 . 事業の全体像)	中間報告 (実施内容・結果、自己評価)
<p>(事業の名称)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石川県「女性の再チャレンジ支援プログラム」 <p>(事業実施主体・連携協力機関等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施主体 石川県 (県民文化局、商工労働部、健康福祉部) ・連携協力機関 石川労働局 いしかわ女性基金、いしかわ子育て支援財団、金沢勤労者プラザ、商工会議所連合会、商工会連合会、21 世紀職業財団など <p>(主な事業実施場所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石川県女性センター (金沢市三社町 1 番 44 号) <p>(実施にあたり組織する会議、協議会、組織等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「チャレンジ・ネットワーク連絡会議」 ・メンバー構成 県 (県民交流課、男女共同参画課・女性センター・子ども政策課・労働企画課) 石川労働局 (職業安定部・雇用均等室) 関係団体 ((財) 石川県金沢勤労者プラザ・(財) いしかわ子育て支援財団・(財) 21 世紀職業財団) 事業主団体 (商工会議所連合会、商工会連合会) 	<p>(事業の名称)</p> <p>女性再就職総合支援事業</p> <p>(事業実施主体・連携協力機関等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施主体 石川県 (県民文化局、商工労働部) ・連携協力機関 石川労働局 いしかわ女性基金、いしかわ子育て支援財団、金沢勤労者プラザ、商工会議所連合会、商工会連合会、21 世紀職業財団 <p>(主な事業実施場所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石川県女性センター (金沢市三社町 1 番 44 号) <p>(実施にあたり組織する会議、協議会、組織等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「女性再チャレンジネットワーク連絡会議」 ・メンバー構成 別紙 1 <p>(概ね計画に沿った内容で実施。)</p>
<p>事業計画 (2 . 事業のねらい・特色)</p> <p>(事業の目的と現状)</p> <p>女性が、その意欲と能力等に応じて「再チャレンジ」を実現することは、男女共同参画社会の実現はもとより、次世代育成支援の観点からも、さらには本県産業を担う人材の育成・確保の観点からも重要な課題である。</p> <p>このため、再チャレンジを希望する女性が、再就職等に必要な支援を受けられる総合相談窓口として「女性再チャレンジ支援室」を設置し、各種情報やサービスをワンストップで受けられる体制を整備する。</p> <p>(参加対象女性層、人数等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・求職活動中の女性 (失業者) : 10,200 人 (石川県版「労働力調査」17 年 10 ~ 12 月) ・就業意欲を有する無業女性 : 43,300 人 (総務省「就業構造基本調査」14 年 10 月) ・その他、生活設計等に悩みを有する有業女性など 	<p>(事業の目的と現状)</p> <p>同左</p> <p>このため、再チャレンジを希望する女性が、再就職等に必要な支援を受けられる総合相談窓口として「女性再チャレンジ支援室」を設置し、各種情報やサービスをワンストップで受けられる体制を整備した。</p> <p>(参加対象女性層、人数等)</p> <p>同左</p>

<p>(事業の成果目標・評価への考え方)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業の成果目標 サービス利用者数 800人/年 <p>上記のうち再就職、起業者数、NPO活動など 300人/年(再就職250人・起業・起業見習20人 NPO活動30人を目途)</p> <ul style="list-style-type: none"> 評価への考え方 直接的には、単年度ごとに上記の事業実績で評価 長期的には、県内女性の「労働力率の向上」と「失業率の低下」 の双方を目指したい(石川県独自の「労働力調査」でチェック 可能) 	<p>(事業の成果目標・評価への考え方)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業の成果目標 サービス利用者(H19.1末現在) 972人(女性再チャレンジ支援室 910人 職業見習 21人 職業訓練 41人) <p>上記のうち再就職、起業者数 再就職 34人 (女性再チャレンジ支援室 17人 職業見習 15人、職業訓練 2人) 起業 1人(女性再チャレンジ支援室)</p> <p>サービス利用者については、県等の広報媒体を効 果的に活用した結果、当初の目標を達成した。 「ぶちセミナー」←→「相談」 再就職等という流 れが少ない。再就職へ繋げる更なる工夫が必要であ る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 評価への考え方 同左
<p>事業計画(3.事業内容・年間スケジュール)</p>	
<p>(情報提供)</p> <ul style="list-style-type: none"> 県広報媒体等、利用案内リーフレット等による広報 登録者に対するメール等による継続的な情報提供 女性センターのHP(チャレンジサイト)の活用 <p>(相談事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> 専任のキャリアコンサルタントを配置。 「その場」でハローワーク職員等と対面相談できるよう、テレビ 電話システムを導入。 出張によるカウンセリングサービス等を提供。 このほか、「ワンストップサービスセンター」としての機 能強化を図るべく、石川労働局に対し、女性センターへハ ローワーク職員の配置(巡回相談)を要望中。 	<p>(情報提供)</p> <ul style="list-style-type: none"> 県広報媒体、利用案内リーフレット等による広報 別紙2 利用者数が年間目標を超えており、案内リーフレ ット、県広報媒体を活用した広報が効果的に 行われた。 登録者に対するメール等による継続的な情報提供 希望者がなかったため未実施 女性センターのHP(チャレンジサイト)の活用 チャレンジサイト[石川県]で女性再チャレ ンジ支援室を紹介 支援室では求人情報、子育て支援情報、各 種講座開催案内等の情報を集約。 <p>(相談事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> 専任のキャリアコンサルタントを配置。 キャリアコンサルタント 1名 相談日時 月曜日～金曜日 9:00～17:00 テレビ電話システムの導入 接続先 ハローワーク金沢 県NPO活動支援センター ハローワーク金沢への利用は多いが、NPO創業の希望者が少 ないため県NPO活動支援センターへの利用はわずか。 「女性再チャレンジハンドブック(再就職編)」作成 就職活動記録欄、企業訪問記録欄を設けることによ って支援室へのフィードバックを促している。 ハローワーク金沢からの出張相談 週2日 ハローワークとの連携が図られており、全体とし て充実した相談が行われている。 (財)いしかわ子育て支援財団と連携し、「子 育て支援メッセ」において出張相談を実施 具体的な相談までいならず、女性再チャレンジ支 援室の案内にとどまった。

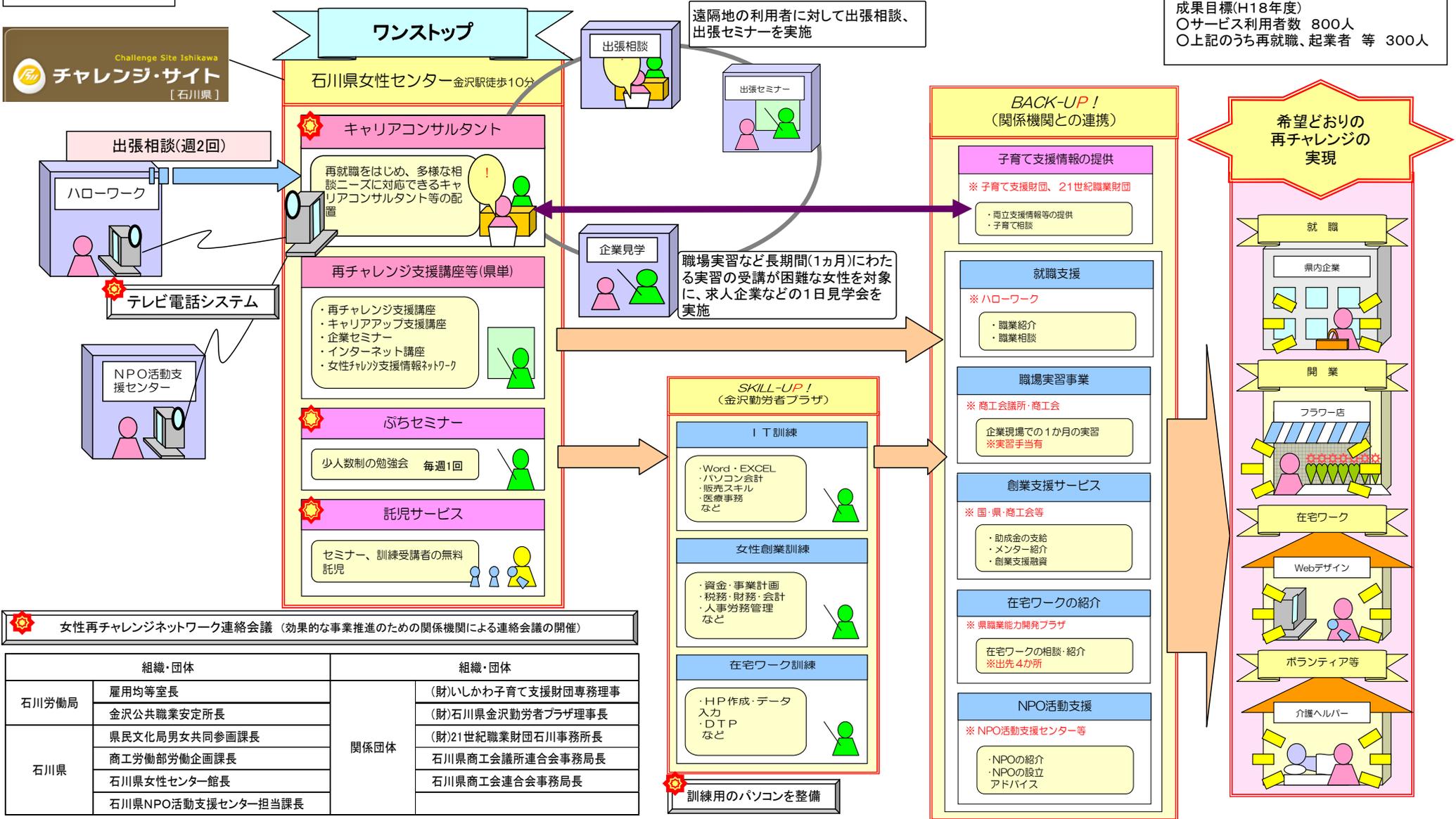
<p>(セミナー、講座等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数制のセミナーを概ね週1回開催予定。 ・女性センター(県)の独自事業として、新たに「再チャレンジ支援講座」や「キャリアアップ支援講座」等を開催。 ・職業選択・企業選択に迷う女性等のため、手軽な職場(企業)見学サービスを提供。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センター来所者や職業訓練受講者のための託児サービスを提供。 <ul style="list-style-type: none"> ・県独自のメニュー(H18年度新規施策)として、1か月間の企業現場での実習を経て本採用を目指す「職場実習事業」、女性の創業を支援するため3か月トレーニング「女性創業トライアル」等をスタート。 	<p>(セミナー、講座等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ぷちセミナー」の開催 別紙3 毎週1回(木曜日) 2時間 託児サービス付き ・再チャレンジ支援講座 7月2日3日開催(22人) ・キャリアアップ支援講座 2月中3日間予定(36人) ・企業見学会 10月1回開催 2月1回予定 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぷちセミナー、IT訓練受講者に対し託児サービスを実施 サービス利用児童数 延べ 57人 ・女性再チャレンジ向け実習、講座を実施 職場実習事業 事業期間 7/21～3/31 IT訓練 8/1～10/31(60日間) 創業訓練 11/14～2/13(58日間) 在宅ワーク訓練 1/23～3/22(41日間)
<p>事業計画(4. 事業連携体制)</p> <p>(関係支援機関との連携方法、役割分担)</p> <p>女性センターのほか、ハローワーク・商工会議所・職業訓練施設・ジョブカフェなどの各種専門機関ほか関係機関相互の連携体制を確保し、情報共有を密にするとともに、事業運営の中で発生する諸課題の解決策等を検討するため、「チャレンジネットワーク会議」を開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割分担 <p>女性センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合相談窓口(ワンストップセンター)として各種の相談ニーズへの対応、関係機関のサービスメニュー等の情報発信、関係機関への円滑な誘導。 ・誘導後も、継続相談や電話でのカウンセリング等を通じて、再チャレンジの実現まで継続的なフォローアップを実施。 ・このほか、広報活動等を通じて女性の再チャレンジの促進を図るほか、セミナー開催等により関連知識の習得等を支援。 <p>関係支援機関(主なもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハローワーク 就職先企業の紹介・斡旋 ・商工会議所等 就職支援(職場実習)、創業支援(経営指導・創業塾) ・公共訓練施設 再チャレンジに必要な知識・技能の習得 ・職業能力開発プラザ 在宅就業案件の紹介 ・NPO活動支援センター NPO団体の紹介・設立支援 ・子育て支援財団 子育てに関する各種相談 	<p>(関係支援機関との連携方法、役割分担)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性再チャレンジネットワーク連絡会議を設置 運営・組織 別紙4のとおり 第1回連絡会議 平成18年10月18日開催 第2回連絡会議 平成19年3月開催予定 ・役割分担 <p>女性センター</p> <p>センターに「女性再チャレンジ支援室」を設置し、カウンセリング、セミナー、情報提供、託児サービスを実施。</p> <p>相談者のニーズに合わせ関係機関への誘導を円滑に行っている。</p> <p>関係支援機関</p> <p>関係機関においては、それぞれの分野での支援の他、特に、商工会議所等では職場実習受入企業の開拓、公共職業訓練実施施設では女性の再チャレンジ向けのIT訓練等を新たに分担。</p>
<p>5. 翌年度事業への考え方</p>	<p>基本的には18年度事業を踏襲するが、特に次の点に力点を置く。</p> <p>再就職の実績を高めるため、ハローワークとの連携をさらに強化する。</p> <p>事業主団体と連携して企業見学会、企業説明会の回数を増やし、個々の相談者の再チャレンジ実現に向けた具体的目標の設定と意欲の増進を図る。</p>

石川県「女性再就職総合支援事業」の概要

…内閣府予算

Challenge Site Ishikawa
15th チャレンジ・サイト
【石川県】

成果目標(H18年度)
○サービス利用者数 800人
○上記のうち再就職、起業者 等 300人



別紙 1

女性再チャレンジネットワーク連絡会議委員名簿

所 属	職 名	備 考
石川労働局 雇用均等室	室 長	
金沢公共職業安定所	所 長	
財団法人 石川県金沢勤労者プラザ	理 事 長	
財団法人 いしかわ子育て支援財団	専務理事	
石川県商工会議所連合会 金沢商工会議所	事務局長	
石川県商工会連合会	事務局長	
財団法人 21世紀職業財団石川事務所	所 長	
石川県県民文化局男女共同参画課	課 長	副座長
石川県商工労働部労働企画課	課 長	座 長
石川県女性センター	館 長	
石川県NPO活動支援センター	担当課長	

女性再チャレンジ支援室広報活動

1. 女性再チャレンジ支援室利用案内リーフレット配布

配布先	団体・施設数	配布枚数
市町(男女共同参画担当課)	19	23,000
公共職業安定所	11	
商工会議所・商工会	29	
各種女性団体等	20	
公民館	323	
関係団体	9	
スーパーマーケット	20	
合 計	431	

2. 県広報媒体等を利用した広報

①テレビ

放送日	番組名
7月23日	テレビ金沢「石川まるごと探検隊」
9月9日	北陸朝日放送「石川ホットニュース」
9月10日	テレビ金沢「石川まるごと探検隊」
10月8日	石川テレビ「ウィークリー石川」
1月20日	北陸朝日放送「石川ホットニュース」
1月28日	石川テレビ「ウィークリー石川」

②ラジオ

放送日	番組名
1月23日	(北陸放送番組中の県広報コーナー)

③新聞

「女性再チャレンジ支援室」の案内 1回

「ぶちセミナー」の案内 5回

④広報誌

県広報誌「ほっと石川」秋季号(県内全戸配布) 1回

金沢市広報誌「るうぷ」(市内全戸配布) 1回

(財)いしかわ女性基金情報誌「エール」 3回

※その他報道機関等からの取材(開設時を除く)

①テレビ 2件

②新聞 3件

③機関誌 1件

1. 女性再チャレンジ支援室相談件数(19. 1. 31現在) 201 件

年代別相談者数

合計	10代	20代	30代	40代	50代～
201人	1人	28人	76人	47人	49人

2. 「ぷちセミナー」開催状況(19. 1. 31現在)

日時	セミナー内容	受講者数
8月3日	自分をプロデュースする方法	6
8月10日	自分をプロデュースする方法	6
8月17日	目を引く！応募書類の書き方	6
8月24日	やりたいことって何だろう？	6
8月31日	第一印象で決まる！あなたのイメージ	9
9月7日	自分をプロデュースする方法	12
9月14日	NPO法人立ち上げまでの軌跡	14
9月21日	あなたのアピールポイントは何？	10
9月28日	第一印象で決まる！あなたのイメージ	8
10月5日	ビジネス文書、はじめの一步	5
10月12日	第一印象で決まる！あなたのイメージ	9
10月19日	もう一度ビジネスマナー	7
10月26日	タイムマネジメント	11
11月2日	自分をプロデュースする方法	15
11月9日	再チャレンジはじめの一步！ライフプラン	14
11月16日	コミュニケーション力をアップする！（Ⅰ）～聞き上手になるために	11
11月22日	あなたのアピールポイントは何？	7
11月30日	コミュニケーション力をアップする！（Ⅱ）～話す・伝える	12
12月7日	いろいろな仕事を知ろう！（パン屋さん編）	15
12月14日	もう一度ビジネスマナー	13
12月22日	目を引く！応募書類の書き方	13
12月26日	知っておきたいメンタルヘルスケア	14
1月5日	私の『やりたい！』を実現させる	6
1月11日	タイムマネジメント	7
1月18日	ビジネス文書、はじめの一步	8
1月25日	企業説明会～いろいろな仕事を知ろう～	11
合計		26回 255

石川県女性再チャレンジネットワーク連絡会議設置要綱

(設置)

第1条 再チャレンジを希望する女性が、個々の希望や活動段階に応じて必要な情報やサービスをワンストップで受けられる体制を整備するとともに、石川県と関係機関が連携し、女性の再チャレンジを積極的に支援することにより、本県における産業人材の確保と男女共同参画社会の実現並びに次世代育成支援を図ることを目的とする女性再就職総合支援事業を円滑かつ効果的に実施するため、石川県女性再チャレンジネットワーク連絡会議（以下「連絡会議」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 連絡会議は、次の事項を所掌する。

- (1) 女性再就職総合支援事業、その他女性の再チャレンジを支援する取組に関する連絡調整
- (2) 女性再就職総合支援事業を実施するうえで発生する課題の検討
- (3) その他女性再就職総合支援事業の総合的な推進に関する事項

(組織)

第3条 連絡会議に座長及び副座長を置く。

- 2 連絡会議の座長に石川県商工労働部労働企画課長を、副座長に石川県県民文化局男女共同参画課長をもって充てる。
- 3 委員に別記に掲げる職にある者をもって充てる。ただし、座長が必要と認めるときは、これら以外の者の出席を求めることができる。

(職務)

第4条 座長は、連絡会議の事務を総括する。

- 2 副座長は、座長を補佐し、座長に事故あるときは、その職務を代行する。

(会議)

第5条 連絡会議は、座長が招集し議長となる。

(庶務)

第6条 連絡会の庶務は、石川県商工労働部労働企画課において処理する。

(雑則)

第7条 この要綱に定めるもののほか、連絡会議の運営に関して必要な事項について、座長が別に定める。

(附則)

この要綱は、平成18年9月22日から施行する。

別 記

石川労働局雇用均等室長

金沢公共職業安定所長

(財)石川県金沢勤労者プラザ理事長

(財)いしかわ子育て支援財団専務理事

石川県商工会議所連合会金沢商工会議所事務局長

石川県商工会連合会事務局長

(財)21世紀職業財団石川事務所長

石川県女性センター館長

石川県NPO活動支援センター担当課長 (石川県県民交流課)